

シリーズ2 「福島を考える～私たちに何ができるのか」 <社会学部 平塚ゼミ> 展示図書リスト

No	タイトル	所蔵部署	配架場所	請求記号
1	『愛あふれる村 いいたて』(2007) 飯舘村			
2	「までい」特別編成チーム企画(2011)『までいの力』SAGA DESIGN SEEDS	多摩開架	2F	291.2/MA
3	菅野典雄(2011)『美しい村に放射能が降った: 飯舘村長・決断と覚悟の120日』ワニ・ブックス	多摩開架	2F文庫新書	543/KA//S
4	千葉悦子, 松野光伸(2012)『飯舘村は負けない: 土と人の未来のために』岩波書店	多摩開架	2F文庫新書	/岩波新赤/1357/S
5	長谷川健一(2012)『原発に「ふるさと」を奪われて: 福島県飯舘村・酪農家の叫び』宝島社	多摩開架	2F	916/HA
6	小澤祥司(2012)『飯舘村: 6000人が美しい村を追われた』七つ森書館	多摩開架	2F	543/OZ
7	法政大学社会学部平塚ゼミナール(2012)『震災後の学校から見る「地方」と都市』法政大学社会学部平塚眞樹研究室気付			
8	赤坂憲雄, 小熊英二(2012)『「辺境」からはじまる: 東京/東北論』明石書店	多摩開架	2F	369.3/AK
9	「現代」の授業を考える会(2011)『エネルギーと放射線の授業』太郎次郎社エディタス	多図開架	2F	375/GE
10	高橋哲哉(2012)『犠牲のシステム福島・沖縄』集英社	多図開架	2F文庫新書	/集英社/625/S
11	広河隆一(2011)『福島原発と人びと』岩波書店	多図開架	2F文庫新書	/岩波新赤/1322/S
12	たくきよしみつ(2012)『3・11後を生きるきみたちへ: 福島からのメッセージ』岩波出版	多図開架	2F文庫新書	/岩波J/710/S
13	ロシナンテ社編(2012)『3・11原発震災: 福島住民の証言』解放出版社	多摩開架	2F	543/RO
14	「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク(2012)『大震災と子どもの貧困白書』かもがわ出版	多摩開架	2F	369.4/NA
15	大橋雄介(2011)『3・11被災地子ども白書』明石書店	多摩開架	2F	369.4/OH
16	石井山竜平(2012)『東日本大震災と社会教育: 3・11後の世界にむきあう学習を拓く』国土社	多摩開架	2F	379/IS
17	栗原彬 [ほか](2012)『3・11に問われて: ひとびとの経験をめぐる考察』岩波書店	多摩開架	2F	369.3/KU
18	游学社・フリーハンディキャップ協会(2011)『多様性社会の再生: 東日本大震災被災地の現状・障がい者の働く現場』游学社	多摩開架	2F	369.2/YU
19	境野健兒, 千葉悦子, 松野光伸(2011)『小さな自治体の大きな挑戦: 飯舘村における地域づくり』八朔社	多摩開架	2F	381.2/SA
20	島田修一, 辻浩(2008)『自治体の自立と社会教育: 住民と職員の学びが拓くもの』ミネルヴァ書房	多摩開架	2F	318/SH